

エリスロポエチン（造血ホルモン）の投与時期について（2007/2/20）

#.7

Name:	康太ちゃん	Age:	19歳	■投与開始時の BUN/CRE	137 / 9.91
■薬剤名			■投与時猫体重		3.5kg

■開始年月日～終了年月日（投与回数／量） PCV／HCT の変化
2006.08.17～2006.08.23 (/) 15.4%→11.9%
■抗体について：
抗体が出来なかった
■他の貧血対策：
レバーもゆで卵も拒否でした。 チニックを少しあげていましたが飲まなければならないお薬の多さから負担になると思いきちんとはあげられていませんでした。

■飼い主さんの感想

康太の場合エリスロを始めたのが既に静脈輸液をガンガン落とさなければならぬ状態でしたので追い付かない...と言う感じでした。

打った次の日はなんとなく調子が良さそうだったのを覚えています。数値にこそ現れませんでしたでしたがほんの一瞬でもエリスロの効果があったのかもしれない。

2006年明けてからは通院の血検も康太には負担が大きくなり毎月行っていた血検も間が開きがちでした（両親と康太は一時期千葉にいて千葉の病院で腎不全と診断。東京に戻って来ましたが、こちらの先生とは自宅輸液の考えにずれを感じてそのまま千葉の病院にお世話になっていました）。もう少し早くエリスロを打っていればきっと効果があったのではないかと悔やまれます。私は調剤薬局に勤めているのですが薬剤師に聞いた所、やはり少しでも細胞が元気なうちに打たないとあまり効果は見られないのでは...との意見でした。千葉の先生にはHT20を切ったらエリスロと言われていました。

康太は高値安定組でしたが最後まで食欲がったせい5月末までは26.2ありましたので進み出すとあつと言う間です。早い段階で判断する事が大切だと実感しました。

《じいや補足》

高値安定で頑張った康太ちゃんもデブちゃんと同じようにガクッと下がってしまったときがあったようです。どんなに注意深く見守っていても見た目にはなかなか判断できないこともあるのは事実で、腎性貧血があるコに関しては、神経質になりすぎずも注意が必要なのかもしれません。

飼い主さんからは追伸で「EPO が力を発揮するには鉄分と葉酸を必要とするのだとか。なので無理にでもチニックをあげるようにと獣医さんに言われました」という情報をいただきました。デブちゃんもとくに投与中は鉄分を与えるようにというアドバイスを主治医から受けました。